

フタマタ生活。

大崎ユリ Yuri Osaki



アルファポリス文庫

7月24日(日)

フタママタ生活。

フタママタってしたことがありますか？

アタシは今までしたことはありませんでした。

だってフタママタってイケナイコトだし、する必要もなかったから。付き合っている間はその人だけを愛するのが当然だと思っていたのです。いいえ、今もそう思っています。

けれど、現在アタシはフタママタをしています。二人の男性を同時に愛しています。

このブログを通して「フタママタ」とは何なのか。本当にイケナイコトなのかを見つけられたらいいなと思っています。

笑いあり、涙あり、エロあり！でお送りする「フタママタ生活。」。

読んでいただけたら幸いです。

フタママタ生活。

—— 7月24日(日) フタママタ生活。

まずは人物紹介。

・ユリ（アタシ） 18歳。東京在住の専門学生。

初めての二股に戸惑いながらも、毎日楽しく生きてます。姉御肌で自意識過剰。スポーツと料理が得意。バスケサークルに入っています。

・シユウジさん（彼氏） 23歳。社会人。

付き合ってから3年になる彼氏様。優しく、常識知らずの変わり者。車はあるけど金はない。ついでに暇もない。性欲も少ない。けれどアタシが弱っているときにはいつも側に居てくれる素敵な人。将来は結婚したいと思ってる。

・ハル（愛人、ってか浮気相手） 18歳。

地方出身のクラスメイト、今はアパートで一人暮らし。子供っぽいところが可愛い、雑学王。アタシに彼氏が居るのを知ってて、愛人になってくれた。金はないが、性欲はいっぱいある。177センチの

長身で59キロ。ウエストがアタシより細い。

とりあえずこの三人を中心に話して行きます。

中傷、批判はお断り。二股を許す人も許さない人も、しっちゃって人もされてる人も、またはしちやいそいな人も、これを読んで自分の考えをもてたらいいな。

フタマタ生活。

—— 7月24日(日) フタマタ生活。



7月25日(月)

愛人ハル。

そもそも、なんでアタシがフタマタを始めたかというのと、それはこの前の金曜日、22日のことです。

その日、アタシはサークルの新歓飲み会がありました。

冗談でハルに「酔って帰れなくなったら泊めてねー」と言うと、ハルは「いいよー」と、軽く流す感じで返事をくれました。

アタシはハルに想いを寄せていたので、例え冗談でもその返事を嬉しく思い、当日酔ってはいなかったのですが、録画してもらった金曜日ロードショーのルパンを取りに23時半過ぎにハルのアパートへ行きました。

ビデオを受け取ったら帰ろうかと思っていたのですが、その時間から地元へ帰るとなると1時を回ってしまうとのことで、その日、アタ

シはハルの家に泊まりました。

始めはお互い頭を逆にして寝ていたのですが、あまりにも寝にくかったため、並んで寝ることに。アタシは「そうなったらそれはそれでいいや」と思っていたのですが、ハルの方は理性を押さえるのに必死だったみたいです。途中眠気に襲われることもありましたが、二人して一睡もできず。そのまま朝を迎えました(笑)。

どちらかと言えばおそって欲しかったのかもしれない(爆)。「ちょっと寂しいなあ」と思いつつシャワーを借り、アタシが浴び終わってからハルがシャワーを浴びました。

その間、アタシは眠いのでベッドでごろごろしていたのですが、あまりの眠気に危うく爆睡。シャワーから出て来たハルもさすがに眠いらしく(一晩理性保って頑張ってたものね)ベッドでごろり。

「あんまりくっつくくとチューしちゃうぞー」とか「おそっちゃうぞー」とか夜からずっと言われていたのですが、アタシは「上手だったらいいよー」とはぐらかしモード。

でも結局はしてしまいました。

フタマタ生活。

—— 7月25日(月) 愛人ハル。



ハルの額にそっとキスをすると、ハルってば理性が止まらない、止まらない！途中で「彼氏いるんだよなー」って手を止めたけど、アタシが「いいよ」って言ってしまいました。大好きなハルに抱いてほしかったのです。次々に服と下着を脱がされてしまいました。

けれどハル、一年ぶりのエッチとあまりにも手練なオンナを前にしてうまく勃たなかったみたいです。「アタシはすごいよー」とかカマかけたのがいけなかったかな。結局最後まではしなかったけど、裸のまま抱き合っついていちゃいちゃしてました。

その時に、彼氏がいることも、それでもハルが好きなのも全部話して、それを承知でハルはアタシの愛人になってくれました。彼氏と別れたら付き合おうねって言うてくれました。

ハルのキスは優しくて可愛くて愛がいっぱいな感じ。身長が変わらないシュウジさんに対し、ハルの身長はアタシより13センチも上。初めて相手を見上げてキスをしました。ちよつと感動的。

今日は月曜日なので、学校でハルにあったわけですが、ドキドキしちゃってうまく話ができなかった。別に可愛い子ぶってるわけじゃない

いんだけどね。あんなことがあった後だと、なんとなく変な感じ。

けれどハルはいつもみたく優しく、アタシはハルが大好きで、きつとシュウジさんと別れる決意をしなければならぬのだと思った。

寝ても覚めてもハルのことばかり考えてる。

シュウジさんと一緒にいるときでさえも。重傷だよ。

フタマタ生活。

——7月25日(月) 愛人ハル。



7月26日(火)

彼氏シュウジさん。

今日は彼氏であるシュウジさんのことを話します。

シュウジさんとは昔から家族同士の付き合いがあり、気付いたときにはもう知り合いです。はじめは、優しくてカッコいいお兄さんだなあと思っていたのですが、いつからかその「憧れ」がアタシの中で「好き」に変わりました。

相手にされないかと思っていたのです。15歳のアタシから見れば、20歳のシュウジさんは完璧な大人。それでも、好きだという想いは日増しに大きくなりました。

たまたまメアドを交換するチャンスがあつて（しかしこれはアタシの作戦であり、見事にひっかかってくれました）、その日から毎日メールをするようになりました。

その頃にはもう、シュウジさんも5つ年下のアタシに恋愛感情に近いものを抱いていたそうです。メールをして1週間するかしらないくらいでデートをし、すぐに付き合うようになりました。

夢のような日々だった。本当に好きな人と付き合えて、毎日が幸せだった。手をつなぎ、キスをして、抱き合つて……。

アタシにはぐちゃぐちゃとした家庭事情があります。産みの母親はアタシが1歳になる前に離婚して、9歳のときに一度会ったきりです。今は手紙のやりとりをしています。ここ2ヶ月ほど手紙は来てません。父に預けられたアタシは、祖父母と父の妹2人（叔母）と暮らしていました。大人に囲まれた生活で、アタシも大人と同じ目線わがままで育てられたのかもしれませんが。今思うと、上手に甘えることも我侭を言うこともできずに、気付けば親の愛情を知らずに歳を重ねていました。

小学校1年生のときに再婚してできた母親とは、それなりにうまく付き合ってきたつもりですが、本当の親子になれないまま、高1の冬にまたもや離婚。

フタマタ生活。

——7月26日(火) 彼氏シュウジさん。



愛していたのに、伝えられなかった。本当はもっと甘えたりしたかった。できぬまま終わった夢です。

原因のすべてが父にあるとはいいませんが、独断的で、自分勝手に思いやりにかけるような人です。それでも、アタシの親はもう父しかいないので大切にしたいと思っています。かけがえのない、存在なのです。

そんな感じで、自分でいうのもなんですがそれなりに苦労してきました。リスカや鬱も経験したし、今でも簡単に崩れてしまうことがあります。それをずっと支えてくれたのがシュウジさんなのです。

多少頭が固く、世間知らずなどありますが、彼がいなければアタシは今ここにいないでしょう。

シュウジさんと付き合って、人を愛することの尊さ、人から愛されることの喜びを知りました。親の愛情をうまく感じ取れなかったアタシにとって、このことは大きな力となっています。「この人と一緒にいれば大丈夫だ、きつとアタシは幸せになれる」と信じられるようになったのです。

アタシはまだ18歳のガキんちよ。それでもシュウジさんといつか結婚したいと本気で思っていました。それが崩れ始めてきたのが最近。

ここのとこ仕事に忙しく、週に二、三度は残業。月に一度は泊りがけで研修みたいのに行くこともあります。

そこはアタシの干渉するところではないのですが、そのことよって会う時間が減ってしまうのはあまり気持ちのいいことではなく、溜まっていく不満の吐き出し口として、今の状況があるのかもしれない。

それでもアタシはやっぱりシュウジさんを愛していて、一緒に居たいって思う。ただ、それが「依存」だった場合、アタシは別れなきゃいけない。

さっきも言ったように、アタシにはぐちゃぐちゃとした家庭事情があつて、それで情緒不安定になったとき、助けてくれる彼がいなくてだめなんです。どこまでも落ちていってしまつて。でもそれじゃあ、シュウジさんは精神安定剤と一緒に。

フタマタ生活。

——7月26日(火) 彼氏シュウジさん。



もつとちゃんと愛してあげなきゃ。



7月28日(木)

合鍵。

「合鍵」って、素敵な響きですよね。

アタシのキーホルダーには今、3つの家の鍵がついています。自分の家と、シュウジさんの家と、ハルの家。

昨日はブログ更新できなくてごめんなさい。ハルの家にお泊まりしていました。昨日から祖父母が旅行のため居ないので、アタシは家にひとりぼっち。だからハルのアパートに行きたいなあと思って。

ハルは風邪ぎみだったし、課題もあったので初めは躊躇ちゅうちゆしていたのですが、クラスの子と仲良さそうに話しているのを見たら羨まうらやしくなっちゃった。

アパート行ってもいい？ とメールで聞くと、「いいよー、部屋汚

フタマタ生活。

—— 7月28日(木) 合鍵。

いけど」って返事がきました。ハルが優しくてよかった。学校での彼はなんだかクール(?)。平然としているので普通の友達みたい。別にそれがいやなわけじゃないけど、ちょっと寂しいなあって。

お互い課題はあったので、それを少しだけ学校で片付けてからアタシは先に帰りました。合鍵をもらったのです。まるで本物の恋人のよう！ いつでもおいでって言ってくれてるみたいで嬉しかった。入りびたりにならないように気をつけなければ。

夕飯の買い物をしてアパートに着くと、ハルの自転車はまだなくて、とりあえず「おかえり」は言っておあげられるなあって思った。おはようとかおやすみとか、いつてらっしゃいとかおかえりなさいとか、毎日のように繰り返される言葉だけど、その言葉がもつ温かさや安心感を、アタシはハルにあげたかった。

本当はご飯も作って待ってたかったんだけどそのまでの時間はなく、アタシがアパートに着いた10分後くらいにはハルも帰ってきた。

けれどハルは熱があるみたいでそのままベッドに倒れちゃいました。見捨てて帰るのもかわいそうだけど、アタシがいたらゆっくり休めないだろうし、課題もあったのでアタシは帰ることにしました。そして「帰っちゃおうの？」って……。ホントかわいいやつ。

とにかく栄養のあるもの食べてゆっくり休ませてあげたかった。なのにハル、アタシが近くに寄ったとたん、ひざまくらしてくるし、チユーもするし、おまけに胸も触ってくるし。男の人って体調悪くても性欲はあるんですね。夕飯作るからって言うてるのに、しばらく離してくれませんでした。

そのあと二人でご飯食べて(鶏肉のトマト煮です。鳥雑炊に仕上がっていたのに、それがいいって)、いちやいちゃしながらテレビ見たりしてたら0時過ぎちゃって、もう大変！ 翌日提出なのに二人とも課題が終わってない。

まずはベッドから出て、Tシャツ着て、机に向かう！ それだけのことアタシたちにはできなくて、いつまでたっても課題は終わりそうありませんでした。

フタマタ生活。

——7月28日(木) 合鍵。



でもエッチはしてない。お互いしたいって気持ちにはあつたけど、なんといつても、ハル熱あるし。またおあずけです。「今度はオレが元気なときにおいでよー」って言ってました。

課題終わったのが午前2時。シャワーを浴びて、やっと寝ることができました。

シウウジさんより薄い胸板に頭を乗せて、だっこされたまま。

翌日、つてか今日は7時半にアタシのケータイの目覚ましを鳴つて、とりあえず朝一チュー。学校まで時間ないのにもかかわらずいちやいちやモード。嬉しいんだけどね。

8時半、アタシは先に電車で学校へ向かいました。学校でまた会えるのに、それはアタシだけのハルじゃないからすこしだけ寂しいかんじ。でも素敵なお泊りだったと思います。次はハルが元気なときに行かなきゃ。

そして今日の夜はシウウジさんの家にお泊り。ハードだぁ。鍵、3つに増えたことばれないようにしなきゃね。

このフタマタ生活が終わるときには、どの鍵が残ってるんだろう。

フタマタ生活。

——7月28日(木) 合鍵。



7月29日(金)

好きになればなるほど。

今日はシュウジさんの家より登校です。1日前はハルの家から登校してたのに……。んー怖い。

昨日の夜は、シュウジさんとアパートでうなぎを食べました。土用の丑^{うし}だね。(なんで丑なのか知ってる方いたら教えてください)(笑)
シュウジさんと会うのは日曜日以来。そんなに間をおいているわけじゃないのに、久しぶりな感じ。っていうか、遠い感じ。

フタマタ生活が始まって、シュウジさんとのメールは極端に減りました。「おはよう」「おやすみ」だけの日もありました。シュウジさんもそれには気づいてるらしく、なんだかテンション下がりが気味。でもアタシがメールを送らなかつたように、シュウジさんもまた自分から送ることはなかつたのだからおあいこ。

夜はエッチして寝ました。テスト週間で眠さの限界にはあつたのですが、ハルを好きになつた今、エッチしないとシュウジさんを感じられない。そんな気がしたんだけど、でも違った。

シュウジさんに抱かれていてもハルのことばかり考えてしまう。彼氏の名前呼びながら、頭の中では愛人の名前を呼んでる。最悪だなあ。ハルを、好きになればなるほど状況は悪くなる。今では完全に気持ちハルの方へ向いているのに、彼氏とは別れられない。それは結局、ハルとの関係がお互いにとつて都合だから。

最初はそれでもいいと思つた。アタシはハルが好きで、だから会いたいし、エッチもしたいし、ヤキモチだつて焼く。彼氏いるの知つてアタシのそういう気持ちを認めてくれたら、それ以上のことはない。ハルだつて、アタシのこと別に好きじゃないだろうけど、自分を想つてくれる人がいたらそれはそれで嬉しいだろうし、エッチもできるんだからいいと思う。彼女じゃないから、余計な干渉はされないし後腐れもない。そんな風に考えてるんだと思う。

でもね、この状況になれてしまつたら、恋人にはきつとなれない。都

フタマタ生活。

—— 7月29日(金) 好きになればなるほど。



合のいい関係から抜け出すことはできない。いつでも切れる関係だからこそ、お互いの欲だけ求めて与えていられる。

怖くないもんね。アタシには彼氏っていう、ハルには別に好きじゃないっていう、保険があるから。

ハルは「彼氏と別れたら付き合おうね」って言うてくれたけど、好きじゃない人と付き合えるのかなあ？ それともアタシのこと好きになつてくれたのかなあ？ 好きじゃなくてもエッチはできるのにな。

でもこの前のお泊りのとき、「学校では大崎さんって呼んでるけど、二人のときはなんて呼べばいい？」って聞いてきてくれた。それってやっぱ、特別って意識してくれてるのかなあ？ 結局、ユリって呼んでくれることになった。

朝学校出る前にそう呼んでくれて、会話の中の1フレーズだけどすごく嬉しくて、今でもニヤニヤしちゃう。ハルがアタシのこと好きになつてくれるといいなあ。

今日もまたシユウジさんのアパートへ行きます。いつボロが出るか怖いけど、明日はデートなのです。ボーナス&お給料でリッチらしい。

サンダルを買ってもらいます（先日3周年を迎えたので、そのプレゼントとして）。こういうとき、社会人っていいなあ〜って思う。

うわっ！！ アタシ最低な女だな！

フタマタ生活。

—— 7月29日(金) 好きになればなるほど。



7月30日(土)

夏休み。

昨日でテストが終わり、今日から夏休み。つてことで昨夜はクラスの子と前期お疲れ様飲み会をしました。男女三人ずつという少ない人数でしたが、このメンバーは好き。ただ、疲れているのと眠いのとで、酔いが回るのが早い早い。

シュウジさんのアパートに帰るはずだったのですが、眠いし、ダルいし、ハルと一緒にいたいし、と思い、家に帰るフリをしてハルのアパートがある駅で降りました。ハルは今日も優しく「おいでー」と言ってくれるのです。もちろんみんなには秘密。

シュウジさんにも酔っ払って帰れそうにないから女友達の家に泊めてもらおうと嘘をついてしまいました。ごめんなさい。

とりあえずシャワー浴びてベッドにごろん。録画しておいた「着信

アリ」を見ながら(ほとんど見てないんだけど)いちやいちゃしてました。なのに昨日もエッチはしてません。なんか躊躇^{ためら}ってるのかなあ、別にいいけど。

飲みが終わって歩いているときにクラスの男の子に言われました。

「彼氏いるんだよねー？」

「うん、たくさん。両手じゃまらず足りないよねー」

「そうなんだあ。じゃあハルは？」

「……え？　なんでそうなるんだ？　と思った。

「なんでハルが出てくるの？」と聞き返したのですが、「いや別に」とはぐらかされてしまいました。何か知ってる！　と思いハルに尋ねてみたところ、どうやらアタシがハルを好きだということにみんな気づいていたらしいです。

でも彼氏がいることも知っているみんなは、ハルに「どうするんだよー」みたいに言ったらしい。ホント、どうするんだよーってこっちが聞きたい。アタシはどうしたらいい？

フタマタ生活。

—— 7月30日(土) 夏休み。



そう言ったらハルは一言、「自分で考えな」って。このままの状況が続いても、結局は苦しくなるだけってわかっている。そう言うとき今度は、「ちゃんと、わかっているじゃん」って……。それは、何かしら答えを求めているってことなのかな。不安になってアタシの存在が重いかと聞くと、そんなことはないと言ってくれた。

答えはきつと出てる。アタシはシュウジさんと別れてハルと付き合いたい。でも浮気関係から始まる恋って……どうなんだろう。

「好きな人じゃなくてもエッチはできるけど、付き合うことはできないでしょ？」

そう言ったアタシにハルは、

「エッチにも多少の好意はいるけどね」

と答えた。

アタシに向けられた多少の好意って、どのくらいなんだろう。

今朝、9時半にシュウジさんのアパートへ着いた。アタシが泊まる

はずだったのに帰って来なかったせいか、はじめは少し不機嫌にも見えた。プールに行く予定はアタシが生理になってしまったため中止になり、普通に街へ出て買い物をした。

そして今はアタシの家。シュウジさんほとんどの部屋でテレビをみているけど、このあとたぶん花火大会に行くと思う。

一緒にいると嬉しいのに苦しくて、その微妙な感情を読み取られてしまいそうで怖い。怖いけど、ひとりになるよりはマシ。アタシはいつだって甘えられて守ってくれる人が側にいないと駄目なんだ。

長い夏休みになりそうだな。

サンプルはここまで

フタマタ生活。

—— 7月30日(土) 夏休み。

